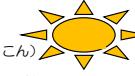


# 宅魂



平成30年度 学校だより 平成30年12月3日発行  
よく考える子 笑顔であいさつする子 約束を守る子 体をきたえる子

発行者 京都市立大宅小学校 校長 西山 正晃  
〒607-8178 京都市山科区大宅五反畠町69の2  
TEL:075)591-0015 URL:<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/oysake/s/>  
FAX:075)591-0096 E-mail:[oysake-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:oysake-s@edu.city.kyoto.jp)

## ～学校評価上半期の報告～

### 教職員自己評価

A…よくできている B…おおむねできている  
C…あまりできていない D…できていない

### 人権 「笑顔であいさつする子」

	A	B	C	D (%)
笑顔であいさつする取組はできていますか？	54%	46%	0%	0%
子どもが友達の良いところや、がんばりを認めようとする態度を育てていますか？	49%	48%	3%	0%
子どものよいところを見つけて、ほめていますか？	58%	42%	0%	0%

### 健康 「体をきたえる子」

	A	B	C	D (%)
体育の授業で、子どもの運動量の確保ができますか？	57%	43%	0%	0%
休み時間に外で遊ぶように働きかけていますか？	63%	37%	0%	0%
生活向上を目指した健康目標の取組はできますか？	75%	25%	0%	0%
食生活の向上を目指した取組はできますか？	64%	36%	0%	0%

### 生徒指導 「約束を守る子」

	A	B	C	D (%)
子どもが楽しくすごせる学級作りができますか？	48%	52%	0%	0%
チャイムと共に授業を始めていますか？	62%	30%	8%	0%

やわらかい言葉づかいができるように、子どもたちの会話に気を付け、言い直しをさせていますか？

### 研究 「よく考える子」

	A	B	C	D (%)
子どもが活躍する授業をしていますか？	40%	56%	4%	0%
昼読書や図書室を活用し、本好きの子どもを育てていますか？	44%	52%	4%	0%

家庭学習が継続的にできるように、適切な課題(計算・漢字・音読など)を与えていますか？

### ～学校評価の考察～

・学校においては、本年度、体育の授業で全ての学年が使用する「常設コート3面」を設置した。各段に準備する時間が短縮され、子どもたちが運動に親しみ・楽しんでいる時間が増えている。また、子どもたちの運動場で遊ぶ姿もアンケートの結果より回数が見られており、常設コートの線を利用して、クラス遊びでボール遊びを行うクラスも増えてきている。体育の授業や中間休み・お屋休みの運動の充実を目指すことで、生活と運動の結び付きを高め、生涯にわたって運動を楽しもうとする子どもたちを育んでいきたい。

・食生活の向上を目指した取組についてには、学校においても栄養教諭と給食調理員を中心に、食の指導を子どもたちに定期的に行い、特に自分たちの食生活に関係する内容についても、学校においても食生活改善を目的に取り組んでいる。「毎日、朝ごはんをたべている」については、昨年度よりもさらに数値的な高まりを見せている。今後も、体づくりの根本である「食」について、100%を目指すためにどのような働きかけができるか保護者の皆様と一緒に考えていくたい。

・あいさつについては、昨年度よりも教員の意識は向上を見せた。子どもたちにおいても、80%以上の子どもたちが、「あいさつはおおむねできている」と回答している。しかし、保護者の方が「すくんであいさつしている」と回答されたのは、15%にとどまっている。「かからずあいさつする姿勢を育てるようとする教員の意を受けて子どもたちの「あいさつしょり」と思ふ気持ちも育ててきているが、身近な相手へのあいさつとともにまとまってしまっていると、教員から見られる。学校の中でも、訪れてられた方にあいさつをする雰囲気が育っていない。今後、あいさつできない姿が見られたときに、教員が自分の働きかけを強化し、あいさつしやすい雰囲気を育てていきたい。自信をもって、人と関わっていくことができる子どもたちを育んでいきたい。

・「やわらかな言葉使い」については、できていないと感じている。教員が約半数、保護者と児童が約30%と、3者において共通した課題意識をもつていている。子どもたちに、「敬語」や「ていねいな言語」など「正しい言葉づかい」を状況に応じて使えるように言葉にこだわった声がけを増やしていくたい。

・「チャイムと共に授業をはじめていますか？」で教職員のポイントが前年度より下がっている。普段の様子を見ても、シングがなつてもすぐにどちらの姿が見られる。子どもたちの気持ちが緩んでいる部分もあるが、教職員の意識も徹底して「時間」を大切にする指導をしていきたいと考える。

### ～学校運営協議会・学校評議委員会より～

・情報化社会において、子どもたちを取り巻く環境は複雑になってきている。年々、子どもの携帯電話保有率は上昇しており、大宅小学校校区内においてもその傾向が見られる。携帯電話でのトラブルも増えてきているので、学校からの保護者に対しての働きかけの強化や一緒に考える時間などの設定も行っていく必要がある。

・学力向上の取組を継続して続けていく必要がある。ぐんぐんタイム(木曜日6時間目)の取組をどの様に学力向上につなげていくのか。家庭学習についても保護者との連携を進めていく必要がある。

### 保護者による外部評価

A…そう思う B…だいたいそう思う  
C…あまりそう思わない D…そう思わない

### 児童自己評価

A…そう思う B…だいたいそう思う  
C…あまりそう思わない D…そう思わない

